

さくらの里

第37回 研究集会

分館と地域おこし協力隊の活動報告から 蚕桑地区を考える

3月5日、蚕桑地区コミュニティセンターの研究集会を開催しました。最初に発表した「睦分館」は、東高玉の3町内、39戸です。1世帯9000円を集めて活動しています。10月にグラウンドゴルフをし、約50名参加で芋煮会を行いました。やははいろの後にも新年会を行っています。公民館が建つて40年、災害時の利用等を考え、みんなで協力しながらやっていきたいというお話でした。



睦分館長 本木善博氏

次に発表のあった「高野分館」は、西田尻の8町内で39戸です。7月に昭和57年から続いている体力レクリエーション大会を開催。また、11月には29回を数える輪投げ大会に保育園児から70才代が参加し、和気あいあいと行いました。少子高齢化の波が押し寄せる中ですが、もしもの時のために災害時の備えをしておかなければならないと話されました。最後の発表は山口の「沖分館」16町内37戸で構成されています。



高野分館長 金田文俊氏

4月に「観桜会」という花見があり46名の参加がありました。8月には山口区と共催で100名参加の防災訓練を行いました。炊き出し訓練、起震車での揺れ体験、煙体験、放水体験等に積極的に参加いただきました。町内のユニークショーを図る場として公民館事業を盛り上げていきたいと抱負を語られました。第2部は、地域おこし協力隊の石井紀子さん（千葉県出身）、遠藤真弓さん（神奈川県出身）から活動報告をいただきました。石井さんは、主に山口の仏像調査を行い、それを豆本にまとめて配布しています。蓮の花をテーマに「あゆむ」で展示会を企画したり、高玉芝居の瑞龍院公演でも仏像の説明をしました。



沖分館長 菅貞司氏

遠藤さんには、「木の駅プロジェクト」の仕事内容やパワポイントでわかりやすく説明いただきました。石井さんは、地域の有志とがワークショップを何回も行いました。「桜の守り人」の紙芝居を上演しました。白鷹中生が「葉師桜」の管理をされている金田聖夫さんにお話を聞き、シナリオを考え、色づけしたもので、桜の花びらには深山和紙が使われています。この紙芝居を製作したことで桑の桜を守り、広めていきたいという意気込みが感じられました。参加者も熱心に見入っていました。



紙芝居の説明をする照井博恵さん



地域おこし協力隊石井さん（左）遠藤さん（右）

活き粋き学級 閉級式



3月14日
(火)パレス松風で活き粋き学級閉級式を行いました。今年度の活動を振り返り、来年度に向けてどのような活動を行うていくか話し合いました。

閉級式の後、スクリーンを見て歌を口ずさみながら体を動かしました。30分間の運動でしたが、終わる頃には汗ばむ程のいい運動になりました。
みんな楽しんで食事したり、運動したり、歌ったりするのはいいもんだなあと思いがすが、笑顔の参加者のみならず、



こぐわキッズ広場



が、自分で作ったお弁当の味はどうか。

今年度最後のこぐわキッズ広場は、3月4日(土)に健康づくり推進員蚕桑支部、健康福祉課、産業振興課との共催で「てまり寿司の弁当づくり」を行いました。子ども達は、ハムやチーズを型抜きしたり、薄焼き卵で包んだり、海苔やきゅうりを切ったりして、彩り豊かなかわいらしいお弁当を完成させました。お弁当は家に持ち帰りまし

介護予防教室



理実習を行っていたとき、参加者は「家でも塩分に気を付けたい」と話していました。

10月から週1回のペースで行っていた介護予防教室が3月で終了しました。2月22日(水)には、パレス松風で健康教室を行い、ストレッチ等の軽体操を行いました。運動の後は、食事をして懇親を深めました。また、3月1日(水)には、町

健康福祉課の木口祐里栄養士さんから「介護予防の食事」として、栄養指導と調理



山口のお寺 調査報告会 地域おこし協力隊 石井紀子さん

山口区・山口里づくりの共催で、石井さんが今年度調査した安楽院、薬師堂、文殊院についての報告会が山口公民館でありました。山口区民のほか、仏像や歴史に興味のある方約40人が参加。石井さんは、パワーポイントを使い、薬師堂に奉納された絵馬についての見方や、仏像の裏面に書かれている仏師の名前を時にユーモアを交えながら興味をひくように話し、参加者は大変勉強になりました。



↑「いのちをいただく」という紙芝居を読んでもらいました。

折り紙教室

2月13日(月)、20名の参加で「花てまり」の折り紙教室を行いました。初めに30個の花びらを折る作業は、中心部分の開き方が難しかったようです。午後からは、パーツを組んでいき形にしていきますが、「どこにつなげるかわかんにえくなつた」と指導の皆川さんの手を借りながら何とか全員が完成。大事に持ち帰っていました。



豆腐作り講習会



2月21日(火)、4キロの大豆を譲り受け、豆腐作りを行いました。うるかした大豆は水と共にミキサーにかけますが、量が多いとミキサーが動かず時間がかかりました。大鍋にかけ、混ぜながら沸騰させます。すぐにふきこぼれそうになり四苦八苦していました。さらし布で絞る作業は、熱いので協力しながら行いました。にがりを入れザルにあげ完成です。手間のかかった豆腐は、大豆の風味がし、濃厚でおいしかったと好評でした。

シラタカ・レッドダンス体験

町で「おどる!シラタカレッド」のCDを作成したので、ダンス体験会をしました。参加者は保育園児から70代まで18名。最初に椅子に座って振付を覚え、その後は全身を使って動いてみました。皆さん積極的で「覚えられんにえからもう1回」とリクエストが入るほど。心地よい汗をかき「気持ち良かった」という感想も。地域に帰ってサロン等でも広がっていきそうです。

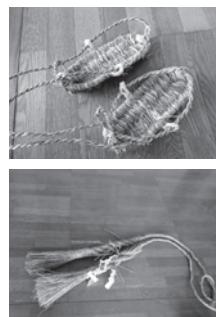


シラタカレッドのRのポーズもバッチリ!

西高玉で縄ない講習

西高玉では、稲荷神社にしめ縄を奉納していますが、年々、藁を扱える人がいなくなっていることから、町内の小口貞義さんと金田郁雄さんに習い、縄ないをしました。小丈もちという品種の苗を植え、秋には子供会育成会と一緒に収穫祭で、もちつきを行いました。

1月29日から2月末まで毎週日曜日に集まり、わらじとしめ縄を完成させました。



見守り、ありがとうございます

今年度の青色パト車の運行は、小学校の入学式における出発式を皮切りに、防犯連絡員、民生児童委員、むつみ学級生、青色パト車協力者、防犯・防災部会員延べ95名(40回実施)の方に協力頂きました。大変ありがとうございました。防犯協会蚕桑支部では、来年度もコミセン車を使った青色パト車の活動を行っていきます。同乗者を随時募集しておりますので、ご協力頂ける方は、コミセンまでご連絡下さい。

☆青色パト車運行
毎週木曜 午後3時から約1時間

介護予防教室のご案内

年齢を重ねてもいつまでも元気で、いきいきと充実した毎日を送るため、介護予防教室事業（元氣わくわく教室）を行います。この教室では、体力筋力向上と、認知症予防にもなる体操を定期的に行います。

◎対象 65歳以上の方（支援や介護が必要のない方）

◎場所 蚕桑地区コミュニティセンター

◎期間 5月10日（水）から週1回水曜日

平成30年3月28日まで

※1年間通して週1回参加可能な方

◎時間 午前10時から11時30分

◎講師 白鷹町総合型地域スポーツクラブ ゆめスポしらたか「RO*KU」

◎利用料金 1回200円

（送迎はありません）

◎申込み先 白鷹町地域包括支援センター 係

4月24日（月）まで電話で申込みください

※定員は20名です。先着順ですので、お早めに申込みください。

担当：白鷹町地域支援センター係

電話番号 86・0112

蚕桑出身 佐藤涼香さんの

コンサートが行われます

AMIAMO ROSSINI
アマアーム・ロッシーニ

◆日時 5月14日（日）2時開演
（1時30分開場）

◆会場 白鷹町文化交流センター
あゆーむ

☆出演者 佐藤涼香 メゾソプラノ

東京藝術大学3年在学中

久保田敏生 テノール

東京藝術大学3年在学中

玉崎優人 ピアノ

三重県鈴鹿市出身

☆料金 一般 1000円

中学生以下 500円

☆チケット取扱い あゆーむ・白鷹町中央公民館・蚕桑地区コミュニティセンター・中華料理 喜多楼

青パト巡回の出発式を行います

◎日時 4月12日（水）午前8時

◎場所 蚕桑小学校

☆防犯連絡員、青パトにご協力いただいている方々ぜひ、ご参加をお願いします。

当日は警察のパトロールカー、企業の協力車、センターの青パト車で蚕桑地区内を巡回します。

さくらまつりのお知らせ

◎日時 4月14日（金）～30日（日）
（終了は開花状況によって変動します）

◎場所 釜の越農村公園

◎イベント

☆4月16日（日）出演団体

・さくらの保育園児のダンスとお歌

・パスラポ山形キッズダンスチームのチャリディング披露

・マルベリーズによるダンス披露

☆4月22日（土）高玉芝居上演

☆4月23日（日）出演団体

・荒砥高校吹奏楽部

・長井市紅花レジェンドによるけん玉パフォーマンス

・桜鷹会によるよさこい披露

これからの予定

- 3/23(木) 体振三役会
- 3/25(土) 地域おこし協力隊報告会
(パワーセンター)
- 4/ 1(土) さくらの保育園入園式
- 4/ 3(月) 辞令交付式
- 4/ 7(金) 蚕桑小学校入学式
- 4/12(水) 青色パト車巡回出発式
- 4/14(金)～ 釜ノ越・薬師さままつり



地域おこし協力隊 遠藤真弓

こんにちは！雪も段々と溶けて春が近づいていきますね。

私は先日、「第6回木の駅サミットin岡崎」に参加するため、愛知県岡崎市額田地域まで行ってきました。白鷹でも実施されている木の駅プロジェクトは現在、全国で80カ所ほどで実施されています。

今回は、「ヨソモノ・若者・地域おこし協力隊」というテーマをもとに集まった人たちがあれやこれや話したり、自分の町の木の駅の自慢をしたりとても濃い内容でした。

特に、耕運機や草刈り機などに手を加えて、木を引張り出すときに使うロープウインチに改造している方がいて印象に残りました。買うよりも10分の1ほどの予算で出来るという事で、私も作ってみたいですね。来年度は森の中の活動を増やしていきたいです。ツリーハウス作り、ハンモック森林浴など・・・

妄想でご飯が食べられそうです（笑）



J A山形おきたま白鷹地区年金友の会ワナゲ大会 山口チーム優勝

3月5日(日)、荒砥小学校体育館においてワナゲ大会が行われ、団体の部で山口Aチームが優勝しました。また、個人男子の部で東田尻の渡部誠蔵さんが、2回とも180点で優勝。女子個人では山口の長谷部忠江さんが2位に輝きました。おめでとうござります。



山柳

蚕桑交柳社作品

課題 「客」

尻長い客に箒を逆さ立て
貧客に売り子の声も途絶えがち
客あしらい巧い女将にしてやられ

八重 四蹴 耕心

課題 「習慣」

嫁様が来て習慣も今ふうに
習慣付き日々歯車の中で生き
習慣も行事も消える過疎の町

笑柳 臯月 案柳

ユーモア句

フラワー線走っているが客一人
今日も飲むよくぞ男に生まれけり

南柳 一杯

「元気に戻ってきてね」
大鮎貝川で鮭放流

大鮎貝川に鮭をよぶ会(今野國善会長)が主催し、3月6日(月)にサケの稚魚1万匹を放流しました。蚕桑小2年生18名が参加し「大きくなつて戻ってきてね」と声をかけ、バケツから稚魚をやさしく放していました。東高玉の住民有志は、3、4年後大鮎貝川に鮭が遡上してくるのが楽しみですと話していました。



あとがき

コミセン2年目もやっと終わりに近づいてきました。理事や専門部会の方々に協力をいただき、新しいことへのチャレンジもできた年でした。地域のみなさんも積極的に足を運んでいただき感謝申し上げます。4月からもみなさんの声を聞きながら「行ってみよう」「楽しかったな」というコミセン活動を行っていきたいと思っています。どうぞ、気軽に茶飲みにおいでください。いろんな意見を出してください。(まるかわ)